

富山県精神保健福祉協会

会 長 高 柳 功

平成21年度事業報告

1. 広報普及（企画部会）

- (1) 機関誌等の発行
- (2) 「こころの図書館」の運営 蔵書数：1,887冊（寄贈含む） ビデオ、DVD：67本
- (3) こころの健康フェスティバル・平成21年度富山県精神保健福祉大会
平成21年11月12日（木）午後1時半～午後4時
基調講演 「これからの精神保健：当たり前の生活を求めて
～施設から地域へ、訓練からマッチングへ～」
- (4) メンタルヘルス講座 第1回：平成21年9月11日、第2回：11月26日
第1回 「職場における自殺予防～私たちにできること」
国立精神・神経センター精神保健研究所 自殺予防総合対策センター
自殺実態分析室長 松本俊彦
第2回 「女性のからだとメンタルヘルス」 女性クリニックWe富山院長 種部恭子
- (5) 子どもの心の健康セミナー 平成21年11月6日
「思春期のひきこもりの理解と支援」
国立精神・神経センター国府台病院 第二病棟部長・児童精神科医 齊藤万比古
- (6) うつ病等の啓発HP「うつ安心とやま」に係る管理業務
20年度に開設したホームページ・うつ安心とやまを管理運営し、講演会や研修会の案内を更新、広く周知した。
- (7) 自殺対策緊急強化事業
 - ①自殺予防週間普及啓発強化事業
自殺予防週間にラジオCMの放送と共に短時間のスポット番組を放送した。また、新聞広告による啓発、街頭宣伝を実施した。
 - ②自殺対策に係る包括支援相談会の新聞広告掲載等事業
「こころと暮らし、いのちの相談会」を開催した（事前に新聞広告等でPR）。
富山会場：平成21年10月4日 富山県民会館 相談15件
高岡会場：平成22年2月28日 ウイング・ウイング高岡 相談24件
- (8) 関係団体主催の研修会等への共催、後援協力

2. 精神医療保健

- (1) こころの健康フェスティバル・平成21年度富山県精神保健福祉大会
平成21年11月12日
DVD上映「うつを知る」中高年のうつ・高齢者のうつ
- (2) 精神障害者レクリエーション大会の開催 平成21年10月7日
参加者総数約355名（病院・デイケア・障害福祉サービス事業所等20施設）
施設発表、アトラクション
レクリエーションゲーム：○×ゲーム、グラウンド玉入れ、ポンピタ風船等
- (3) アルコール関連問題研修会の開催（共同募金配分事業） 平成21年11月5日
「さまざまな依存症—悩んでいる本人・家族へのアドバイス」
岩崎メンタルクリニック 院長 岩崎正人
発表：「ギャンブル依存症者を持つ家族が回復するには—12ステップの実践で学んだこと」
発表者：ギヤマノン九段下グループ RIKO
- (4) 精神科チーム医療研修会 平成22年3月29日
「精神医療における心理教育の役割」
新潟大学医学部保健学科 教授 後藤雅博
- (5) 精神科救急空床情報システム業務を行った。

3. 地域精神保健福祉（地域部会）

8厚生センター・支所、富山市保健所管内に設立されている地域精神保健（福祉）推進協議会等が行う講演会、研修会、地域におけるこころの健康フェスティバル等、普及啓発活動や精神障害者を支える事業に対し、支援協力した。

4. 関係団体の組織育成支援と協力

5. 精神障害者社会復帰施設「ゆりの木の里」への支援協力

6. 財源確保への協力について

上記のとおり事業を実施できたのは、精神保健福祉に理解のある会員の皆さんの会費納入のご協力によるものである。とくに日本精神科病院協会富山県支部の20民間病院の多額の会費納入が、「ゆりの木の里」への支援をはじめ、各種事業実施の大きな支えとなっている。

平成22年度事業計画

I 県民の精神的健康の保持及び向上と精神障害者の自立と社会参加推進のため、次の事業を行う。

1. 精神保健福祉の知識と理解について、広報・普及
2. 精神医療保健福祉について、シンポジウム、研修会等の開催
3. 地域精神保健福祉の推進
4. 精神障害者社会復帰の推進

5. 精神保健福祉関係団体の支援

II 部会の構成

1. 企画部会 2. 医療部会 3. 地域部会

III 関係機関との連携

富山県心の健康センター、精神科病院協会、精神科医会等、関係機関との連携を密にして、研修事業等を進める。

IV 事業の内容

1. 企画部会

- (1) 機関誌および50周年記念誌の発行
- (2) 「こころの図書館」の運営
- (3) こころの健康フェスティバル・富山県精神保健福祉大会の開催
- (4) 教育、産業関係者等への研修会の開催
- (5) 関係団体主催の研修会等へ共催、後援等協力
- (6) うつ病等の啓発HPに係る管理業務
- (7) 自殺対策緊急強化事業
21年度に開催した「こころと暮らし、いのちの相談会」を引き続き開催し、自殺につながるような諸問題の解決に努める。

2. 医療部会

- (1) 精神障害者レクリエーション大会の開催
- (2) アルコール関連問題研修会の開催
- (3) 精神科チーム医療研修会の開催
- (4) 精神科救急空床情報システム業務

3. 地域部会

- (1) 各厚生センター・支所、保健所管内地域精神保健福祉推進協議会等への支援、協力

4. 関係団体の組織育成支援と協力

- (1) 県精神障害者家族連合会への支援助成
- (2) 関係団体の組織育成・協力の強化

5. ゆりの木の里支援協力

6. 会員の協力和新規加入の推進

- (1) 現会員の継続
- (2) 一般県民、関係者へのPR

機関誌

精神保健福祉とやま 発行部数 1,000部